



元年度 八熊教育 年間評価まとめ

本校教育活動を振り返り、成果や問題点を明らかにして、改善を図ることを目的として学校評価を実施しました。

保護者の皆様には、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。結果をお伝えし、今後のよりよい八熊教育推進のために貴重な資料とさせていただきます。

児童のアンケート・保護者のアンケートを評価率として整理しました。(それぞれ「児」「保」と表記)

[評価率(%)について]

※ A(よくあてはまる)を4点、B(どちらかといえばあてはまる)を3点、C(あまりあてはまらない)を2点、D(まったくあてはまらない)を1点として計算、平均化したものを得点としました。この得点を百分率で表したものが評価率(%)です。

※ 80%以上を「よくできている」、80%未満75%以上を「おおむねできている」、75%未満を「十分でない」と捉えました。

内容	対象	評価項目	評価率
学校努力点	児	友達の考えをしっかりと聞くことができた。	91
		自分の考えを書いたり、話したりすることができた。	87
	保	学校は、子どもが自分の考えを表現することができるように学習活動を工夫している。	88
学習	児	授業で友達といっしょに考えたり、話し合ったりすることができた。	91
		朝の「八熊タイム」では、がんばって学習することができた。	91
		宿題を忘れずにすることができた。	88
	保	学校は、子どもが学習に集中して意欲的に取り組むことができるように指導している。	86
		学校は、子どもが集団で学び合うことを大切にしている。	93
		学校は、朝の「八熊タイム」・授業・宿題などを通して、基礎学力の向上に取り組んでいる。	90
挨拶	児	進んで挨拶をすることができた。	88
	保	学校は、挨拶ができる子どもを目指し、挨拶運動や週のめあてを通して、取り組んでいる。	87
きまり	児	「八熊のよい子」の約束を守ることができた。	91
	保	学校は、約束を守ることができる子どもの育成を目指し、「八熊のよい子」を基にして、指導に取り組んでいる。	86
行事	児	(作品展に向けて)一生懸命、作品を作った。	97
	保	学校は、仲間と協力し、互いに高め合いながら、全力で取り組む子どもの育成を目指し、学校行事(2学期は作品展)に取り組んでいる。	94
人間関係・異年齢活動	児	友達にやさしく親切にすることができた。	91
		友達と協力して活動することができた。	93
		縦割り班の子と遊んだり、いっしょに活動したりすることができた。	94
	保	学校は、仲間を大切にすることや互いを尊重し認め合うことを目指し、集会など異年齢で交流する活動に取り組んでいる。	94

内容	対象	評価項目	評価率
教育相談	児	困ったことや悩んでいることがあったときには、先生や家の人、友達などに相談することができた。	84
	保	学校は、子どもが困ったことや悩んだことを相談できるように努めている。	90
保健	児	早寝早起きをする、好き嫌いせず食べるなど、健康に生活できた。	80
	保	学校は、子どもの望ましい生活習慣を育成するために、学級指導や保健だより等を通して保健指導に取り組んでいる。	90
安全	児	避難訓練や防犯訓練で、自分の身を守る方法が分かった。	97
	保	学校は、「交通訓練」「避難訓練」「防犯訓練」などを通して、安全指導に取り組んでいる。	93
環境・地域	保	学校は、学習意欲を高める教材の準備や施設の整備を進めている。	85
	保	学校は、清潔で安全な環境整備を進めている。	86
	保	学校は、授業参観、八熊94(学校だより)、学年だより、ホームページなどを活用して、情報発信に取り組んでいる。	92

児童・保護者ともに全ての項目で中間評価より評価率が上がり、「よくできている」という結果になりました。児童の「健康な生活」についての項目も上がったものの、早寝早起きや偏食については、あまりできていないと感じている児童が見られました。ぜひお子さんの成長のためにも日々の生活の中で気を付けていただけるとありがたいです。

保護者の方からは、その他、職員に対する励ましやねぎらいの声をいただくとともに、様々な視点からもご意見をいただきました。その一部を紹介させていただきます。

- 縦割り活動がとても楽しいようです。近所でもなく、学年も違う、知り合う機会のなかなかない子どもさんと知り合うことができ、外で会うと手を振り合ったりしています。続けていくと嬉しいと思います。
- ペア学年での活動は、様々な調整や準備が大変だと思いますが、それを通して子どもたちはたくさんのことを学ぶのでありがたいです。
- 相手の気持ちを考えて行動したり、発言をしたりすることが大切だということを学べるように指導していただきたいと思います。
- 旗当番をやっていて、顔を見て挨拶をしてくれる子どもが増えたように感じました。
- 旗当番をしていると、①目を見てきちんと挨拶のできる子、②頭は下げても声は出さない子、③友達との話に夢中でこちらを見ていない子、④下を向いて目を合わさず歩いていく子、と分かれているように感じます。④は相手を受け入れようとしていないと思うので、それが心配です。恥ずかしさも高学年になれば出てくると思うのですが、再度挨拶の大切さを考えるようご指導願います。
- 学校での様子があまり見えてこないのが、学校だより、学年だより等に写真があると子どもたちの様子が分かり、良いと思います。

上記の他に、「年間行事予定を配ってほしい」という意見がありました。毎年3月上旬には、学校だよりでお知らせし、学校ホームページでは常に見ていただけるようにしています。スマートフォンからでも見るができますので、ご確認ください。

さらに、学校関係者評価委員会では、次のような意見をいただきました。

- 授業参観では、自分の考えを様々な方法で表現している姿が見られ感心した。また、多種多様な学習に取り組んでいる様子もよく分かった。
- 受け身の授業ではなく、子どもたちが楽しそうに発表したり、主体的に活動したりする様子が見られた。
- 自転車はたいへんなけがにつながることもある。左側通行を徹底して指導してほしい。
- 授業や行事から、先生方の日々の苦勞がよく分かる。働き方改革を推進していかなければならない立場ではあるが、子どもと向き合う時間は大切にしてほしい。

このような保護者や地域の皆様のご意見は、今後の八熊教育のための大切な財産として役立てていきたいと考えます。ご協力ありがとうございました。